



新居邸

■建物概要

所在地：伏見区淀新町

構造規模：洋館付き木造二階建て 延べ面積：約260㎡

建築年次：大正末期～昭和初期（洋館・離れ：不明）

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

かつて淀城を中心に栄えた城下町に残る和洋折衷住宅で、大正末期から昭和初期に置屋の主人の別宅として建てられ、その後、洋館が増築されたと聞いています。

今回、昭和20年に撮影された写真を元に、大切に保存されていたステンドグラスを活用して、復元されました。住居としての活用に加えて、一部は地域にも開放されています。

新居さんからのコメント

外観を復元することで、手の込んだ造りの内部空間がより一層活かされ、建物全体が生き返りました。庭を囲んだゆったりした落ち着いた雰囲気的空間を活かして各種会合や教室に、また、洋の空間は喫茶スペースとして、より多くの人に楽しんでもらいたいと考えています。